

3 学期始業式校長講話（令和 6 年 1 月 9 日）

皆さん、明けましておめでとうございます。

1 月 1 日の「令和 6 年能登半島地震では、地震、津波、火災によりたくさんの方が亡くなり、建物やライフラインにとんでもない被害が出ました。今なお、多くの行方不明者があり、水や食糧などが不足し、厳しい避難生活が続いています。皆さんのご親戚の方の中にも被害に遭われた方がいらっしゃるのではないのでしょうか。無くなられた方のご冥福をお祈りし、一刻も早い復旧を願うばかりです。

そして、もし私たちの住む伊那谷にこのような大地震が起きたら、どうしたらよいか、改めて考えてみることも大事だなと思いました。

さて、冬休みはお家の人たちと穏やかに過ごせましたか。冬休み中、大きな事故や事件がなく、こうして新しい年、3 学期を迎えることができ安心しました。

（2, 5 年生代表児童の発表を受けて）

新しい年を迎えて、皆さんも「今年はこれを頑張ろう」「このことを続けよう」などと 1 年の目標を立てた人も多いと思います。新たな気持ちでぜひ目標を達成できるように頑張りましょう。

3 学期は 47 日間。1 年で 1 番短い学期です。しかし、この 3 学期は学習してきたことのまとめをすると同時に、来年度の準備をする時期でもあり、1・2 学期以上に大事な学期です。6 年生はあと 3 ヶ月で中学生に、そして 4 月には新 1 年生が入学してきます。1 年生から 5 年生までは一つお兄さんお姉さんになります。

6 年生は、充実した毎日を過ごす中で、中学生になる決意をしっかりと固めていきましょう。5 年生には、最上級生になるという自覚と新しいアイデアで児童会を作っていくぞ、という気持ちをもって頑張してほしいと思います。

3 学期の学習を進めながら、1 年のまとめや 4 月からの準備をしていくことはなかなか忙しいことです。一日一日を大事にして充実した 3 学期にしていきたいと思います。

さて、今年の干支は「龍(竜)」です。干支では「辰」漢字を書きます。正確には「甲辰(きのえたつ)」です。

辰年生まれの人を今年の「年男・年女」と言います。手良小の年男・年女は 5 年生に 15 人、6 年生に 2 人、そして先生方にも 2 人います。

「甲辰」の年の「甲(きのえ)」とは「甲乙丙丁～癸」の始まりであり、物事の始まりととらえることができます。そして「辰」は発芽した植物がしっかりとした形になる、勢いと大きな力、成功ととらえることができます。この二つが合わさる「甲辰」は新しいことを始めて成功する、今まで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると考えられています。

ちなみに前回の甲辰は 60 年前の 1964 年です。この年は、アジア初開催となった東京オリンピックが開かれ、第 2 次世界大戦で敗れた日本の復興を世界に強く示した年となりました。2024 年は、コロナが五類に分類され、コロナ禍を乗り越えて迎える年です。コロナ禍でいろいろと取り組み見えてきた方向に向かって、新たな何かにチャレンジし成功を目指すのに最適な「甲辰」です。皆さんの一人一人、新しい自分を目指してチャレンジする 1 年にしてほしいと思います。それでは皆さん、今年 1 年がよい年になるように頑張っていきたいと思います。